

# 世界の人々と手を結んでーウラン兵器禁止を求めよう!

## 新たなヒバクと放射能汚染をもたらすウラン兵器

広島・長崎の原爆投下から59年、ピキニ水爆実験被災から50年、それらヒバク被害の悲惨な経験から「ノーモア、ヒロシマ・ナガサキ」人類と核は共存できない」と、私達はヒバクシャとともに訴え続けてきました。しかし今、劣化ウラン兵器によって、新たな形でヒバクと放射能汚染がもたらされています。

核燃料・核兵器製造過程で生じた放射性廃棄物「劣化」ウランを軍事利用したウラン兵器は、その製造から使用に至る全ての過程で放射能汚染とヒバクをもたらします。1991年の湾岸戦争で初めて米・英軍が大規模に使用し、バルカンではNATO軍が、そして2003年、再びイラクで米・英国が大量に使用しました。砲弾の爆発とともに散布されたウランの微粒子は、広範な地域に拡散しています。また不発弾や

汚染した戦車などが放置され、あるいは「廃材」として他へ転用され、汚染がさらに拡大する危険もあります。環境の放射能汚染は、はるか将来の世代にも及びます(ウラン238の半減期は45億年)。ウランの放射性毒性と化学毒性によって、兵士のみならず、多くの一般市民が健康被害の脅威にさらされているのです。

ウラン兵器は核兵器・生物化学兵器・クラスター爆弾などと共に国連人権小委員会でも批難された「無差別殺傷兵器」であり、国際人道・人権法、軍縮法に反するものです。米国の戦争政策、それに加担してイラクへ自衛隊を派遣している日本政府への批判・抗議とあわせ、ウラン兵器の国際的禁止を求めましょう。

## 「ウラン兵器禁止を求める国際連合」(ICBUW)発足? 国際キャンペーン始まる

ウラン兵器の禁止と被害者支援を求める声が、世界中から上がっています。これらの「草の根」の運動をつなぐ国際的なネットワークとして、「ウラン兵器禁止を求める国際連合」(ICBUW)が、昨年10月に結成されました。すでに、世界17ヶ国56の団体が支持・参加しています。ICBUWでは、ウラン兵器とその被害についての疫学・環境汚染調査の提案、禁止条約案の検討、NGOと国連や各国政府などへのロビー活動、インターネットや様々な手段を用いてのキ

ャンペーンの展開、被災者支援などの課題について議論を進めています。そして、ウラン兵器の全面的禁止と被災者支援を含む、「ウラン兵器禁止条約」の締結をめざし、この夏から「国際署名」などの本格的な国際キャンペーンを開始します。

日本からも、さらに多くの方々やグループがICBUWへ支持、参加して下さるよう呼びかけます。(参加ご希望の団体・個人の方は下記の「国内問合せ先」までご連絡下さい。)

## ウラン兵器禁止国際署名、国際共同行動日(11月6日)に取り組みよう

「ウラン兵器禁止を求める国際署名」は、世界中の多くの人々の声を結集し、ウラン兵器を使用・保持している国々へ国際的な圧力をかけるための力となるものです。この力を背景に、「禁止条約」実現などを求めて、諸国政府、国連などの国際機関へ強く働きかけましょう。(まず、国連軍縮委員会に参加しているNGOや欧州議会へ働きかけることを目指し、第一次集約を2月15日とします。引き続き、署名は

禁止条約」締結まで取り組みます。)

毎年11月6日を「戦争と武力紛争による環境破壊を防止する国際デー」とすることが国連によって提案されています(2001年)。ICBUWは、この日を「ウラン兵器禁止の国際共同行動日」としても取り組みたいことを呼びかけます。世界の運動と連帯して、日本各地でも、思い思いの形でウラン兵器禁止の諸行動に取り組みましょう。

### ICBUWメンバー 賛同団体 (2004年7月末日現在、17ヶ国、56団体 順不同)

オランダ: LAKA(基金核エネルギー問題研究センター)/RISQ(独立外交政策シンクタンク)/VD-AMOK(軍事問題調査団体) ベルギー: For Mother Earth/StopUSA/ Mouvement Chrétien pour la Paix Bruxelles/ キリスト教労働同盟 英国: CADU(劣化ウラン反対キャンペーン)/Our Common Future/ ラッセル平和基金 ドイツ: IPPNW(核戦争に反対する国際医師の会)ドイツ支部/IALANA(反核法律家協会)ドイツ支部 フランス: WILPF(平和と自由のための国際女性同盟)フランス支部 イタリア: Peacelink スイス: PSR/IPPNW スイス支部 コンゴ: Kosovo Youth Network ルーマニア: MamaTerra ウクライナ: Soldiers of Peace 米国: MTP(軍事毒物プロジェクト)/ IDUST(国際劣化ウラン研究チーム)/ Center for Peace and Justice/ Grassroots Actions for Peace/ Youth Terminating Pollution/ BANDU/ BarningWitness/ CENTER FOR SAFE ENERGY/ Coalition for a Strong United Nations/ Global Peacemakers Association/ Ground Zero Center for Nonviolent Action/ Merrimack Valley People for Peace/ Nuclear Guardianship Project/ Veterans for Peace in Massachusetts/ ZOR Foundation カナダ: IICPH(人々の健康を憂慮する国際研究所) ニューゼaland: Peace Movement Aotearoa プエルトリコ: The Committee for the Rescue and Development of Vieques インド: IIPDP(インド平和軍縮環境保護研究所)/ SEEDS India パキスタン: SustainablePeace&Development Organization 日本: NODU ヒロシマ・プロジェクトヒバク反対キャンペーン/ 劣化ウラン弾禁止を求めるグローバル・アソシエーション/ 核兵器廃絶をめざすヒロシマの会原水禁国民会議/ 京都反核医師の会/ 長崎の証言の会/ アジアの友とをつなぐ広島市民の会/ インド・パキスタンの青少年と平和交流する会/ ヒューマニズム・フォーラム・ヨコハマ/ ウラニウム兵器禁止条約実現キャンペーン/ 京都原発研究会/ 原発の危険性を考える宝塚の会/ 地球救出アクション 97 その他: Global Network Against Weapons and Nuclear Power in Space

### ICBUW 国際キャンペーン 国内連絡先

振津かつみ (ICBUW評議員/ヒバク反対キャンペーンDU担当)  
〒663-8183 兵庫県西宮市市中町2-1-24  
TEL/FAX: 0798-44-2614  
E-mail: du-ban-hibaku@theia.ocn.ne.jp

嘉指信雄 (ICBUW評議員/NODUヒロシマプロジェクト代表)  
〒731-5154 広島市佐伯区安芸五日市郵便局私書箱3号  
TEL: 090-7897-2095 / 090-9064-4705  
E-mail: info@nodu-hiroshima.org